

令和3年度 常葉大学・常葉大学短期大学部 第1回FD・SD研修会（全学共通研修会）報告

| | |
|------|--|
| 日 時 | 令和3年5月19日（水） 15時10分～16時30分 |
| 場 所 | 常葉大学静岡草薙キャンパス A201 教室 静岡瀬名キャンパス 大会議室 静岡水落キャンパス 203教室、205教室、206教室 浜松キャンパス トコハホール |
| 講演内容 | 「高大接続教育と附属高校のための新入試制度」 |
| 講 師 | 青木 緑 法人本部企画部長 阿部 郁男 入学センター長 |
| 出席者数 | 常葉大学静岡草薙キャンパス 173人 静岡瀬名キャンパス 14人 静岡水落キャンパス 53人 浜松キャンパス 105人 合 計 345人 |

※出席者数には、オンライン（ZOOM）による視聴者、短大部教職員も含む。

令和3年度第1回FD・SD研修会（全学共通研修会）を開催した。法人本部企画部の青木緑部長から「附属高校生のための附属高校総合能力入試制度」について、説明があった。この新制度は、本法人の第2期中期計画の一つである「学校間及び地域との連携に関する計画」を推進するため、新たな入試制度「附属高校総合能力入試」を導入すること、また令和3年度の事業計画においても6つの重点事業の中に大学・短期大学部と附属高校との高大接続教育の発展として、附属高校総合能力入試を掲げている。本法人にとって非常に重要な達成目標であることから、この入試制度の成功に向けて高校、大学、法人本部が協力して実施していく。

続いて、法人本部企画部長の説明を踏まえて、入学センター長の阿部郁男教授から「入試制度をどのように運用するのか」について、説明があった。まず、これまでの附属高校との高大連携事業について振り返り、課題の共有を図った。また、他大学の先進的な高大連携の取り組み事例についての紹介があった。他大学の事例からは、早期合格者における基礎学力の維持・向上の解決策や大学での学びの先取りがモチベーションの向上に繋がることなど参考となる事例が多数あった。

最後に、今年度から始まる附属高校総合能力入試の運用について説明があった。附属高校ならではの一貫した学びを活かし、日頃の学校生活の成果を本学への入学につなげる入試制度であること、またこの入試制度は法人をあげて取り組む事業であることを理解するとともに、各学部に対しては事業の成功に向けて協力を依頼した。